

14
下
聖徒伝 173

「決断する ラハブになろう」

イザヤ書30～31章 イスラエル・エジプト同盟の末路

アウトライン

0. イントロダクション

I. 何もしないラハブ 30:1~18

II. 主に依り頼む者の祝福 30:19~33

III. 神の民への回心の促し 31:1~9

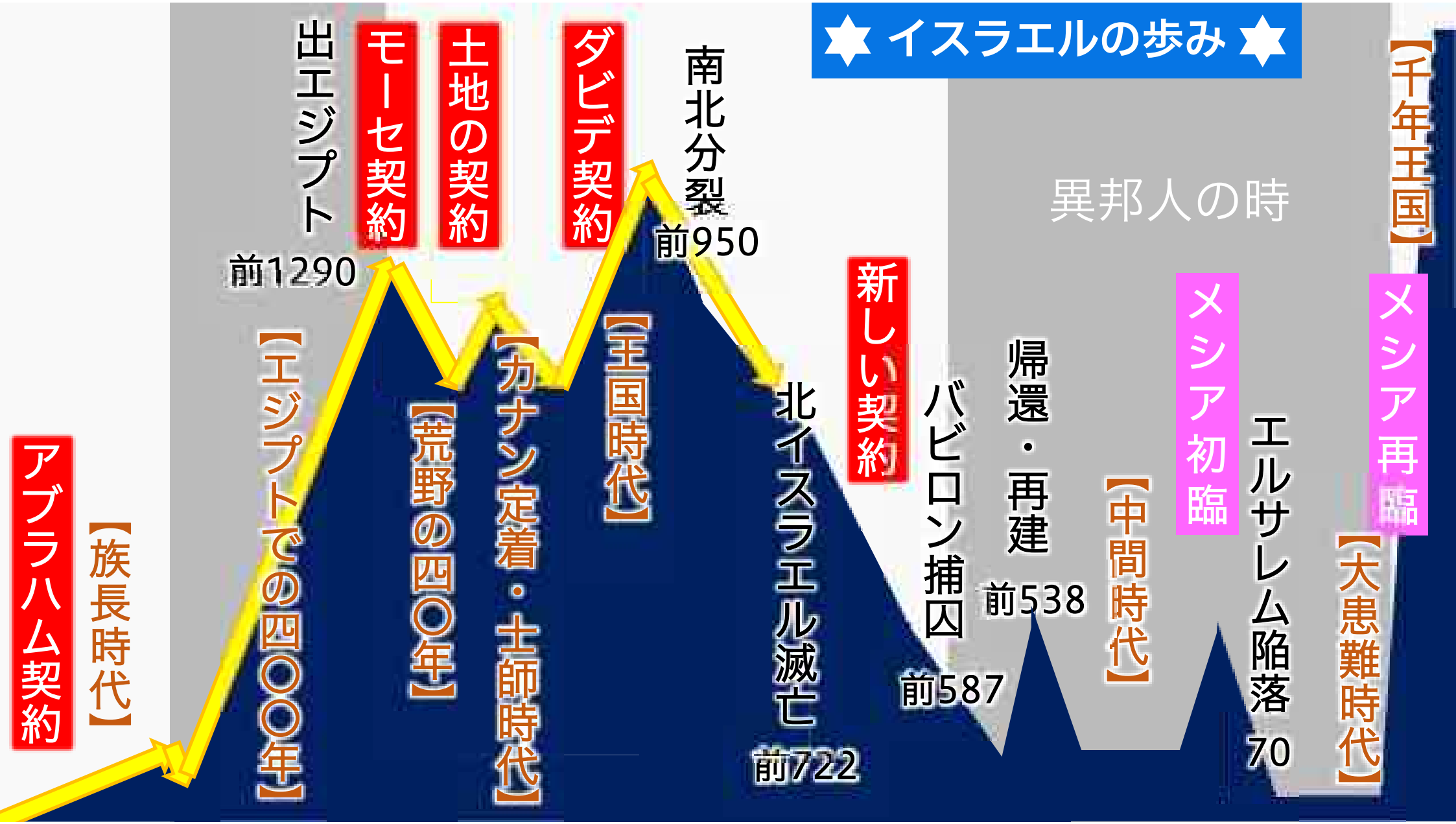
IV. まとめと適用

何もしないラハブではなく

決断するラハブになろう



★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

出エジプト
前1290

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

南北分裂
前950

北イスラエル滅亡
前722

新しい契約

バビロン捕囚
前587

帰還・再建
前538

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落
70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

イザヤ書とは？

■ 著者

…預言者 **イザヤ**

■ イザヤの活動

…エルサレムの都
60年間で4人の王に仕えた。

■ 時代背景

…北王国の滅亡。アッシリアの脅威。

■ 南王国・ユダの政治的対立

① エジプト派 …エジプトと同盟を結ぶ

② アッシリア派 …アッシリアに従う

➔ 政治的には、イザヤはアッシリア派



アッシリア



■ BC722年 …北王国・イスラエルを滅ぼす。(アッシリア捕囚)

■ BC671年 …エジプトを征服。オリエント世界を初めて統一。

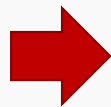
【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】



預言が告げる、三つの時代の出来事



南北時代



① 直近の
苦難

メシア初臨



② 主の日
大患難時代

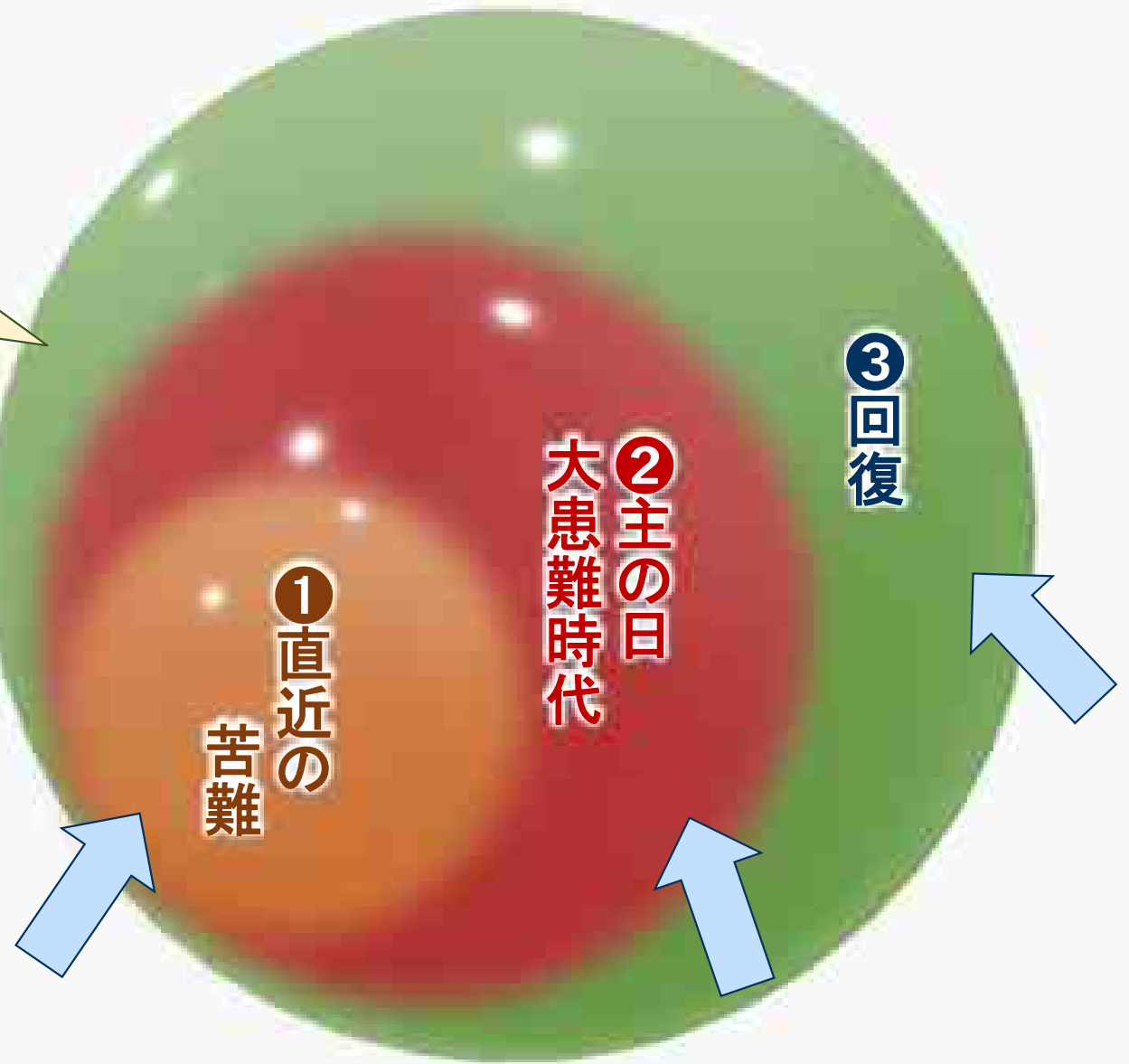


③ 回復
メシア再臨

3Dで預言を捕らえる

シームレスな
かたまりとして
とらえよう

見る角度で
違う時代が
浮き上がる





Ⅰ. 何もしないラハブ

イザヤ書30章1～18節

警告 エジプトとの同盟 イザヤ30:1~2

「わざわざいた、頑なな子ら。——【主】のことは——彼らははかりごとをめぐらすが、わたしによらず、同盟を結ぶが、わたしの霊によらず、罪に罪を増し加えるばかりだ。

彼らは**エジプト**に下って行こうとするが、わたしの指示を仰がない。ファラオの保護のもとに身を避け、**エジプト**の陰に隠れようとする。」

- イスラエルは、アッシリアの脅威を前に、神に依り頼まず、**エジプト**と同盟を結ぶ。



警告 エジプトによる恥辱 イザヤ30:3～5

しかし、ファラオの保護に頼ることはあなたがたの恥となり、エジプトの陰に身を隠すことは恥辱となる。

その首長たちがツォアン*にいても、その使者たちがハネス*に着いても、彼らはみな辱められる。自分たちにとって役に立たない民のゆえに。その民は彼らの助けとならず、役にも立たない*。かえって恥となり、そしりの的となる。」

*エジプト東部の町々。移住者が多かった？

*エジプトはアッシリアに敗退、征服される。



警告 荒野の獣についての宣告 イザヤ30:6

ネゲブの獣*についての宣告。「苦難と苦悩の地を通り、雌獅子や雄獅子、まむしや、飛び回る燃える蛇*のいるところを通り、彼らはその財宝をろばの背に載せ、宝物をらくだのこぶに載せて、役にも立たない民のところへ運ぶ。」

*シナイの荒野に生息する毒蛇

■ 荒野を横断し、エジプトに助けを求める。

→ 神による解放・出エジプトに逆行!!

→ イスラエルは、神に反逆し、

「荒野の獣*」= 悪の手!!



警告 無益なエジプトとの同盟 イザヤ30:7

エジプトの助けは空しく、当てにならない。
だから、わたしはこれを『何もしないラハブ*』
と呼ぶ。」

*海獣, ナイル川のカバ? (ヨブ9:13, イザ5:19)

■ BC701年、エジプト・イスラエル連合軍が
イズレエル平原でアッシリアと対決し敗北。

→ ユダの北部の多くの都市が陥落。

エルサレムは占領を免れる(36~37章)

事実、エジプトは何の役にも立たず!!



警告 嘘つきの子ら イザヤ30:8～9

「今、行って、彼らの前でこれ*を板に書き、書物にこれを記し、後の日のために永遠の証し*とせよ。

彼らは反逆の民、嘘つきの子ら、【主】のおしえを聞こうとしない子ら*だから。」

*神の預言の正しさと民の不信仰の証し。

*神への究極の反逆者が、悪魔・サタン

■神に対して偽る者は、荒野の獣の手の内にあり、悪魔の子となっている。



警告 偽りを求める者たち イザヤ30:10

彼らは予見者に『見るな』と言い、先見者にはこう言う。『われわれについて正しいことを幻で見るな。われわれに心地よいことを語り、だましごとを預言せよ。

道から外れ、道筋からそれ、われわれの前からイスラエルの聖なる方を消せ。』」

■ 信仰を外れた、神への反逆者、嘘つきたちが、偽預言者、偽教師を求め、生み出す。

偽預言者が絶えないのは、人々のニーズがあるから!!



警告 迫る倒壊 イザヤ30:12~13

それゆえ、イスラエルの聖なる方はこう言われる。「あなたがたは、わたしの言うことを退けて、虐げと悪巧みに拠り頼み、これに頼った。

それゆえ、このあなたがたの不義は、そそり立つ城壁に広がって今にもそれを倒す裂け目のようになる。その倒壊*は瞬く間に来る。」

*直近は、アッシリアによるエルサレム包囲。

そして、バビロニアによるエルサレム崩壊

➔究極は、反キリストによるエルサレム侵略



警告 粉碎される民 イザヤ30:14

「その倒壊は、陶器師の壺が容赦なく打ち砕かれるときのように。その破片の中には、炉から火を取り、水溜めから水を汲むかけら*さえ見つからない。」

*陶器の破片も有効利用されていたが…

→**徹底的な破壊**がエルサレムに!!

- ①バビロン捕囚(BC586)
- ②ローマによる陥落(AD70)
- ③反キリストによる破壊(**大患難**)



警告 回心の拒絶 イザヤ30:15

イスラエルの聖なる方、【神】である主はこう言われた。「立ち返って*落ち着いていれば、あなたがたは救われ、静かにして*信頼すれば、あなたがたは力を得る。」しかし、あなたがたはこれを望まなかった。

*“戻る” → 神に立ち返ること。回心。

*“休む” → 休息。神との和解の内にある休息。

悔い改めなき者には、神の裁きが下る!!

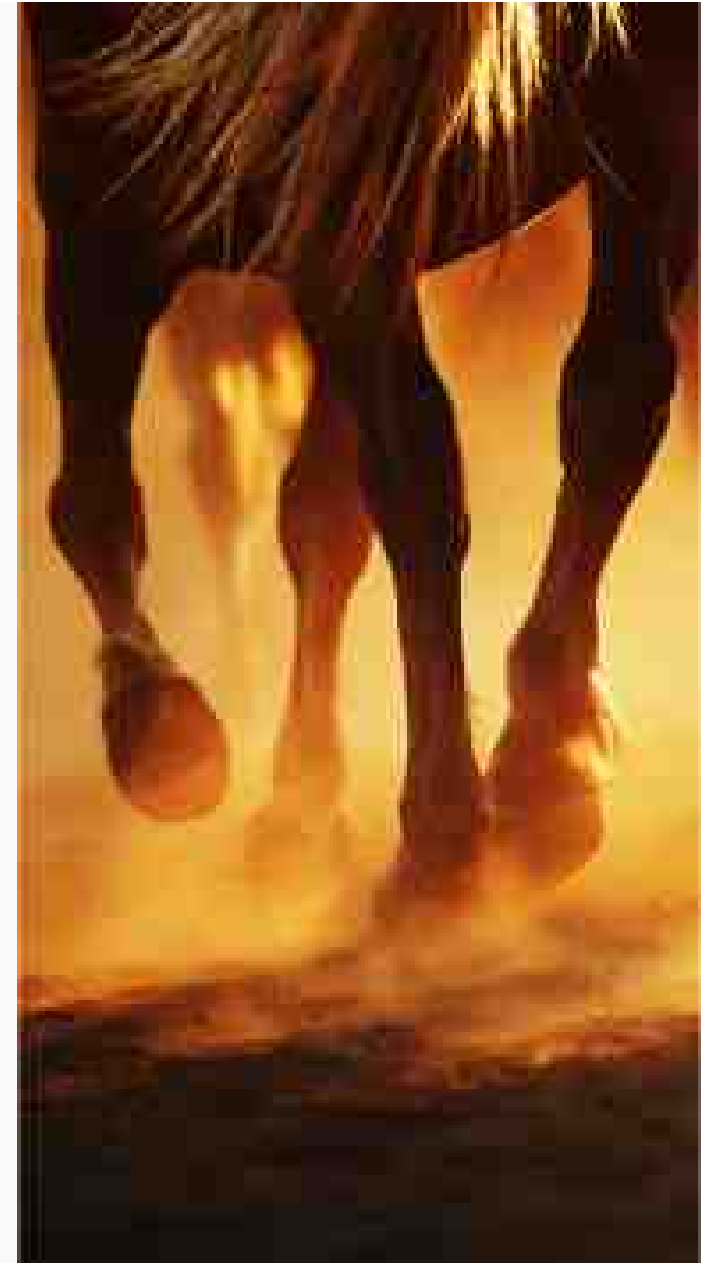


警告 早馬 イザヤ30:16

あなたがたは言った。「いや、私たちは馬で*逃げよう」と。そう言うなら、あなたがたは逃げてみよ。また「私たちは早馬で*」と言った。そう言うなら、あなたがたの追っ手はなお速い。

*馬、早馬 …当時の最速の交通手段

人は誰も神の裁きを逃れられない!!



警告 神の旗となる民 イザヤ30:17~18

一人の脅しによって千人が逃げ、五人の脅しによってあなたがたは逃げる。ついには、**残る者が**山の頂の旗ざお、丘の上の旗のようになる*。

それゆえ【主】は、あなたがたに**恵み***を与えようとして待ち、それゆえ、あわれみを与えようと立ち上がられる。【主】が**義の神***であるからだ。幸いなことよ、主を待ち望むすべての者は。

*イスラエルのわずかな者だけが残される。

■**義なる神***はアブラハム契約に基づく**恵み***ゆえ、イスラエルを滅びに至らせることは決してない。





II. 主に寄り頼む者の祝福

イザヤ書30章19～33節

イスラエルの野に咲くアネモネ

信仰の回復 神の民の教師 イザヤ30:19～20

ああ、シオンの民、エルサレムに住む者。もうあなたは泣くことはない。あなたの叫ぶ声に応え、主は必ず恵みを与え、それを聞くとき、あなたに答えてくださる。

たとえ主があなたがたに苦しみのパンと虐げの水*を与えても、あなたを教える方*はもう隠れることはなく、あなたの目はあなたを教える方*を見続ける。

*牢獄の食事(1王22:27)

*イスラエルのメシア

苦難の中でも、真実の教師である
主イエスが共におられる



信仰の回復 聖別 イザヤ30:21~22

あなたが右に行くにも左に行くにも、うしろから「これが道だ。これに歩め」と言うことばを、あなたの耳は聞く*。

あなたは、銀をかぶせた刻んだ像と、金をかぶせた鋳物の像を汚れたものと見なし、不浄の物としてそれをまき散らし、これに「出て行け」と言う。

*聖霊が、信じる者にささやきかけ、導く。

➡主に聞く者を主が助け、きよめられる。

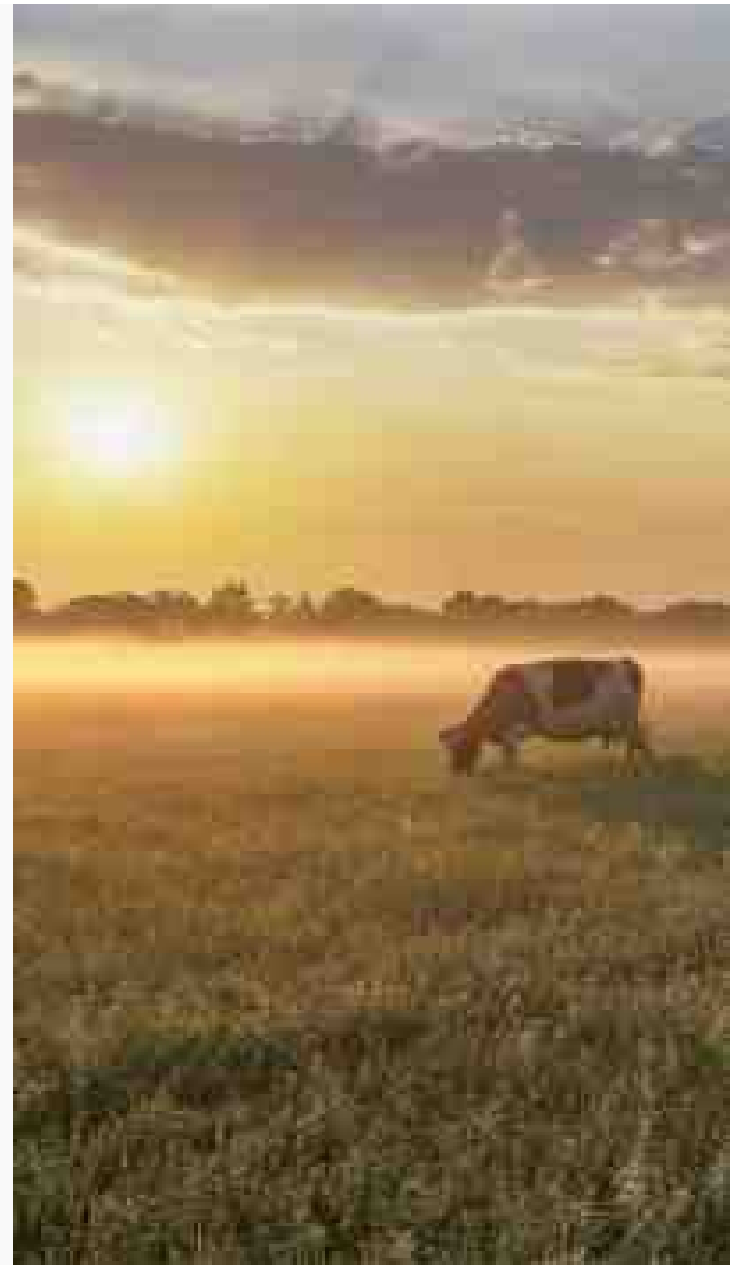


土地の回復 豊かな牧場 イザヤ30:23~24

あなたが土地に蒔くあなたの種に主は雨を降らせてくださる。それで、その土地の産する食物はみずみずしく豊かである。その日、あなたの家畜の群れは広々とした牧場で草をはむ。

土地を耕す牛やろばは、シャベルや熊手でふるい分けられた味の良いまぐさを食べる。

家畜までもが、神の王国の恵みに満たされる



土地の回復 恵みに満ちた世界 イザヤ30:25~26

大いなる殺戮の日*、やぐらの倒れる日に、高い山、そびえる丘の上すべてに、水の流れる運河*ができる。

【主】がその民の傷を包み、その打たれた傷を癒やされる日に、月の光は太陽の光のようになり、太陽の光は七倍*になって、七日分の光*のようになる。

- 大患難に敵は滅ぼされ*、豊富な水*が全土を満たす。
- 千年王国では、イスラエルは完全に主に回復される。
地に降り注ぐ光が増大*し、大地は実りに溢れる。



大患難 再臨のメシア・裁き主 イザヤ30:27

見よ、【主】の御名*が遠くから来る。立ち上る濃い煙*とともに、怒りに燃えて。その唇は憤りに満ち、舌は焼き尽くす火*のよう。

その息は、あふれて首まで達する流れのようだ。それは国々を破滅のふるい*にかけ、諸国の民のあごに、迷い出させる手綱をかける*。

- 神の王国の回復に先立ち、主の裁き*が下る。神の栄光*を伴って再臨されるメシア*が、悪と不信仰者を地上から取り除かれる。



主の主 王の王

大患難 救いと滅び イザヤ30:29~30

あなたがたには、聖なる祭りの祝いの夜のよう
な歌があり、【主】の山、イスラエルの岩に行
くために笛に合わせて進む者のような、心の喜
びがある。

しかし、【主】は威厳ある御声を聞かせ、大雨、
嵐、雹の石で、激しい怒りと、焼き尽くす火の
炎とともに、下される御腕を見せる。

- メシアを信じて救われる者と
- メシアを拒んで滅ぼされる者

この対照が
メシアの再臨



大患難 アッシリアの滅亡 イザヤ30:31~32

【主】の御声を聞いてアッシリアは打ちのめされる*。主が杖でこれを打たれる。

【主】が下す懲らしめの杖がしなるたびに、タンバリンと豎琴が鳴らされる。主は武器を振り回して、これと戦う。

*直近…アッシリアは、バビロニアにより滅亡

➔究極的に、すべてのアッシリア(神への反逆者)は、メシアによって滅ぼされる。



大患難 永遠の滅びの火 イザヤ30:33

すでに**トフェト***も整えられ、実に王のためにも備えられている。それは深く、広くなっていて、そこには火と多くの薪がある。【主】の息が硫黄の流れのように、それを燃やす。

*エルサレムの南西、**ベン・ヒノム**の谷の別称
邪悪な王たちが、人身供養を行った。

→**ゲヘナ**(火の池・地獄)の語源

■主が**ゲヘナ**を備えられ、すべての悪と罪人を死と陰府(よみ)もろとも**ゲヘナ**で滅ぼされる。





Ⅲ. 神の民への回心の促し

イザヤ書31章1～9節

神殿の丘とオリーブ山

警告 エジプトに頼る者の末路 イザヤ31:1

ああ、助けを求めてエジプト*に下る者たち。彼らは馬に頼り、数が多いとって戦車に、非常に強いとって騎兵に拠り頼み、イスラエルの聖なる方に目を向けず、【主】を求めない。

しかし、主は知恵のある方。わざわざいをもたらし、みことばを取り消さない*。主は、悪を行う者の家と、不法を行う者を助ける者に対して立ち上がる。

*長らく最強の世界帝国だった

*30章で預言された裁きが下る



大患難 エジプトの滅び イザヤ31:3

エジプト人は人間であって神ではなく、彼らの馬も肉であって霊ではない。【主】が御手を伸ばされると、助ける者はずまずき、助けられる者は倒れて、皆ともに滅び果てる。

- BC701…エジプトはアッシリアに征服された
- エジプトは、世の象徴
 - ➔ 究極的に、人の栄華はすべて滅び果てる。



大患難 主の裁きと救い イザヤ31:4

まことに、【主】は私にこう言われる。「獅子、あるいは若獅子が獲物に向かって吼えるとき、たとえ大勢の牧者がそこに呼び集められても、獅子は彼らの声にひるむことなく、彼らの騒ぎにも動じない。そのように、万軍の【主】は下って来て、シオンの山とその丘の上で戦う*。

万軍の【主】は、舞い飛ぶ鳥のようにエルサレムを守る。これを守って救い出し、これを助けて解放する。」

■神はライオンのようにイスラエルを裁き*、同時に、エルサレムを救い出される。

➔アッシリア(反キリスト)の侵略と救い(36～37章)



大患難 民族的回心 イザヤ31:6~7

帰れ、イスラエルの子らよ。あなたがたが反抗を強めているその方のもとに。

その日*、イスラエルの子らは、それぞれ銀の偽りの神々や、金の偽りの神々を退ける。それらは、あなたがたが自分の手で自分のために造ったもので、そのことは罪過となっている。

*アッシリアからの解放の日

→究極的には**主の日**・大患難時代の解放

■大患難の災いと大迫害の末、イスラエルの残れる者が、メシアを信じ、回心に至る。



大患難 栄光の都 イザヤ31:8～9

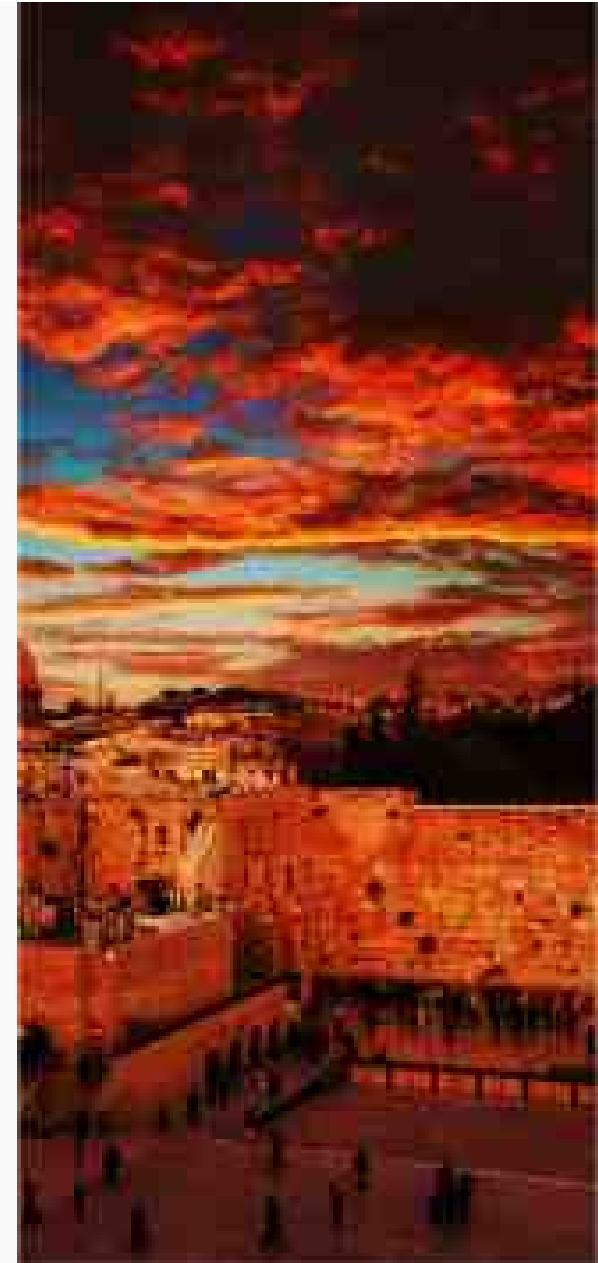
「アッシリアは**人のものでない剣**に倒れ*、人間の
ものでない剣が彼らを食い尽くす。アッシリアは
剣の前から逃げ、若い男たちは苦役に服する。

その岩は恐怖のために過ぎ去り、その首長たちも
旗を捨て、おののき逃げ去る。—シオンに**火***を持
ち、エルサレムに**かまど***を持つ【主】のことば」

*アッシリアを倒すのは**主**。

→反キリストも**主イエス**が倒される。

■エルサレムの神殿に**栄光***を宿された主は、
栄光*のメシアとして王国の都を永遠に治める





IV. まとめと適用

何もしないラハブではなく 決断するラハブに

エリコの城壁跡

エジプトに依り頼んだ 南王国・ユダの末路

- ①エジプトと同盟を結ぶ。←神の警告を無視!!
- ②アッシリアが、エジプト・ユダ連合軍を撃破。→エジプトを征服
- ③ユダは、48の都市を攻め滅ぼされ、エルサレムも包囲
→神の介入により、アッシリア軍は撃破(36～37章)

イザヤの預言は、まず直近ですべて成就した

世に依り頼む イスラエルの将来

- ① 70年のローマ陥落以来、2千年近くも**離散の民**に!!
- ② 1948年、**イスラエル**建国。←不信仰なままの帰還
- ③ 世的な繁栄の一方、世界中で高まる**反ユダヤ主義** **今ココ**
- ④ 世の終わり、**反キリスト**に依り頼み、契約。
→神の怒りが、7年間の**大患難**として下る
- ⑤ 残れる者が**民族的回心** →メシア**再臨**。**神の王国**の建設

過去の預言は、
将来の預言も、
すべて成就
成就される！

ラハブという名の一人の女性

- **ラハブ**という名の女性 → エリコの遊女
- **主を恐れる者**。ヨシュアの斥候を匿い、滅びから救い出された。
- サルマと結婚、**ボアズ**を生む。
ボアズがルツによって生んだ**オベデ** → エッサイ → **ダビデ**
- エリコの異邦人ラハブは、イスラエルの神を恐れ、信じて救われ、**メシアの系譜**を継いだ女性として、その名を系図に刻まれた。

決断するラハブになろう!!

- ラハブ = “大きい、広い”
 - “傲慢” (詩篇101:5)
 - “広い” よい地 (出3:8)
- ラハブは、出エジプトのイスラエルの神を恐れ、心を広く開いて、受け入れた。
- 命がけで、ヨシュアの斥候を守り、イスラエルに貢献した。信仰のゆえに滅びを免れ、神の民に加えられ、永遠の救いを得た。

ラハブのように、主に信頼し、決断して応えていこう!!

■ マタイ福音書 7章13～14節

狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。

いのちに至る門はなんと狭く、その道もなんと細いことでしょう。そして、それを見出す者はわずかです。

■ 救いに至る道は、イエス・キリスト、この方だけ。

私の罪のために、十字架で死に、葬られ、復活された。
このキリストの名のほかには、救いをもたらすものは何もない。

■ 狭い門から入り、狭い道をそれることなく歩んでいこう。

■ 来たるべき神の王国で、広大な世界と永遠の命が待っている。

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、^{そむ}罪を^{つみ}重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神のみ子^こイエス・キリストが、

①わたしの^{つみ}罪を^{あがな}贖うために^{じゅうじか}十字架で^し死に、

②^{はか}墓に^{ほうむ}葬られ、

③^{みっかめ}三日目に^{ふっかつ}復活した^{しん}こと、を信じます。

せま もん みちび い わたし ほろ すく だ
狭い門に導き入れられて、私は滅びから救い出されました。

かれ ち みくに はい とき
広いよい地である、御国に入るその時まで、

みぎ ひだり しゅ みち あゆ つづ
右にも左にもそれず、主の道を歩み続けます。

せいれい たす え しゅ したが けつだん かさ い もの
聖霊の助けを得て、主に従う決断を重ねて行く者としてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」